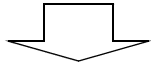


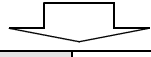
|      |      |
|------|------|
| 評価領域 | 教育課程 |
|------|------|

|            |  |   |
|------------|--|---|
| 重点目標       | 地域の中での学びや地域の人材の活用をとおして、地域との関わりを深め、社会性の向上につながるよう、各学部の特徴を生かした「地域応援活動～みんな元気プロジェクト～」を継続し更なる充実を図る。  | P |
| 現 状        | ・活動状況の発信をとおして学校の知名度は上がっている。児童生徒たちの社会性の向上を促すような地域との関わりはまだ不足している。  |   |
| 具体的な目標     | ・教育課程と結びつけながら地域貢献活動を実践する。学校評価の数値的には、年度末評価において4段階評価の平均値を上げたい。   |   |
| 目標達成のための方策 | (1) 地域貢献活動、交流及び共同学習の充実<br>①地域に貢献できる教育活動の実施<br>②福祉エリア内施設、学校等との交流推進<br>③居住地校交流の継続と拡大<br>(2) 保護者、地域への情報発信と理解推進<br>①ミニ学校展の充実<br>②通信、掲示物(校内)とマスメディア(校外)を活用した情報発信  |   |
| 取組状況       | (1) 地域貢献活動、交流及び共同学習の発展<br>①「ゆり花壇」を国道7号線水林交差点歩道付近に設置し、景観を向上させた。冬季の除雪活動を、PTAや高校生ボランティアとともに実施した。<br>②福祉エリア内施設の慰問、美化活動の他、子吉保育園や鶴舞小交流も継続実施できた。<br>③居住校交流は、小学校3校へ6名であった。<br>(2) 保護者、地域への情報発信と理解推進<br>①ミニ学校展の実施から作業学習製品への問い合わせや購入依頼が増え理解啓発が広がった。<br>②校内掲示は充実し、来校者からも評判が良かった。マスメディア紹介も多くの行事が取り上げられ、情報発信が広げられた。 | D |
| 達成状況       | ・数値的には、年度末の保護者アンケート結果では、No. 25「学校理解のための地域への情報発信に勤めている」の項目で、4段階評価で、平均3.6と昨年度より0.2ポイント上がった。  |   |
| 自己評価       | (根拠)<br>・充実したたくさんの活動ができたが、全体で取り組むものと学部で取り組むものをさらに整理する必要がある。<br>・校内組織については、たくさんの意見が出されたので、各学部の生徒たちの実態に合った活動として充実できるよう、プロジェクトチームがリードして検討を進めたい。<br>・さまざまなマスメディアと情報の発信により、学校の知名度は更に上がり、生徒の活動についての地域住民の評価も高まっている。   | C |
| (評価)<br>A  |  |   |



評価基準 A：具体的な活動がなされて目標を達成できた  
 B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない  
 c：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない

|                |   |   |
|----------------|---|---|
| 学校関係者<br>評価と意見 | (意見)。<br>・子ども達の体験できることが多種で豊かに計画され、運営されている。  |   |
| (評価)<br><br>A  | ・ケーブルテレビ等でもよく子ども達の活動を見ていて、学校の情報、取り組みを知る事が出来た。子ども達は学校生活を楽しめている。<br>・「読み聞かせ」等の資源も活動に取り入れてほしい。<br>・「地域支援だより」「校報ゆり」等を楽しみに読ませてもらい、学校の運営のきめ細かさを勉強させてもらった。児童生徒、職員、保護者がより楽しい雰囲気作りに取り組んでほしい。 | C |



|                                   |   |   |
|-----------------------------------|---|---|
| 自己評価及び<br>学校関係者評価<br>に基づいた<br>改善策 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんな元気プロジェクト」を更に充実させるために、学部内の指導役と全体の調整役が必要である。年度の中で、各取り組みの確認や協同の有無等調整する場を設定する。</li> <li>・小～高の段階を踏んで社会性の向上につなげる。             <ul style="list-style-type: none"> <li>① (小) 居住地校交流の拡大をする。</li> <li>② (中) 「ゆり花壇」の継続。各中学校特別支援学級との交流の充実を図る。</li> <li>③ (高) 木のおもちゃ製作会、森林 組合まつり等は継続して、地域の要望に応える。</li> </ul> </li> <li>・学校の各種便り、広報紙、テレビ、新聞、ホームページ等を活用した情報の発信を怠らず、かつ絶やさない。</li> </ul> | A |
|-----------------------------------|---|---|